

提案趣旨説明書

〈作品タイトル〉

リソース リレーション シティ
Resource Relation City 三河安城

〈提案の趣旨〉

既存の地域資源をより魅力的に、より包括的に、より多くの人に関われるような21世紀の三河安城像を提案します。具体的には、三河安城の魅力的な資源「水路」「駅」「農業」「スポーツ」「文化・歴史」「人」を繋ぎ、新たな資源へと再編し、エリア全体へと広がるプロジェクトを3つ提案します。

1つ目の「水路を繋ぐプロジェクト」では、現在暗渠されている明治用水エリアの一部を開渠、新アリーナと連動した整備を行うことで、明治用水に関わるさまざまな資源をこの場で体験できる、まちの資源ネットワークの中心拠点となることを目指します。



2つ目の「駅を繋ぐプロジェクト」では、重要な資源である連絡通路を、駅と駅を繋ぐ機能だけでなく、滞在できる空間（マイクロライブラリーや大屋根広場）を持つ、周辺環境一帯を含めた包括的リノベーションをおこないます。繋ぐことによって、まちに住む人とまちを訪れる人が交流し、賑わいのあふれる場を目指します。



3つ目の「緑を繋ぐプロジェクト」では、街の植え込みや公園の一部を市民へ貸出し、市民が農作物・植物を育てる事で農作物を育てるだけでなく、市民が主体性を持って街に関わるきっかけをつくります。ストリートごとの収穫祭りやストリートファニチャーなどの整備によって、このエリア全体に緑あるにぎわいが広がることで、歩きたくなる魅力的なストリートのある町を目指します。



これらのプロジェクトはお互いにネットワークで結ばれ、市民活動やNPO・地域のボランティア団体などと連携することで、地域全体でのまちづくり・まちぐらしができると思います。

通過するのではなく、「この街に目的を持って訪れ、滞在し交流することで地域と繋がりをもつ楽しめるまち」、「この街に誇りを持ち、関わり、住み続けたいまち」そんな未来を描き、共有するまちづくりを提案します。